

2011年猪苗代湖の上位層気楼発生状況について

北海道・東北層気楼研究会

星 弘之

はじめに

2011年の猪苗代湖に於ける上位層気楼は現在まで4月30日、5月3日、5月4日(目視)、5月5日の4日間、発生を確認した。過去には6時といった早朝の発生もあったが今年には8時頃からの発生であった。対岸の風景はあまりはっきりせず明瞭な画像で記録を残すことはできなかった。発生日の気象状況は過去のそれとほぼ同じく、発生前の数時間、猪苗代湖の北東や北北東からの1から2mの風が吹き込んで、発生直前には反転する傾向であった。

今年の上位層気楼には、湖面を走る小型モーターボートが上方倒立したものを猪苗代湖で初めて観測した、断片的であったが短時間にほぼ通常状態から上方倒立までの変化を観ることができた。海上でのものは過去に観測していたが湖上では初めてであった。【図1】

湖水を走るモーターボートの下を走る車を観たときには、現実にはあり得ないと分かっているにもかかわらず自然はこんなことも出来るのだと感心し感動してしまった。【図2】また、猪苗代湖の北岸には観測地点から見る事が出来る道路が湖に近い方から国道、高速道路、県道の三つがあるが【図3】。国道を走る1台の車が上下2像に変化し左右に走る様は摩訶不思議なものがあった。【図4】

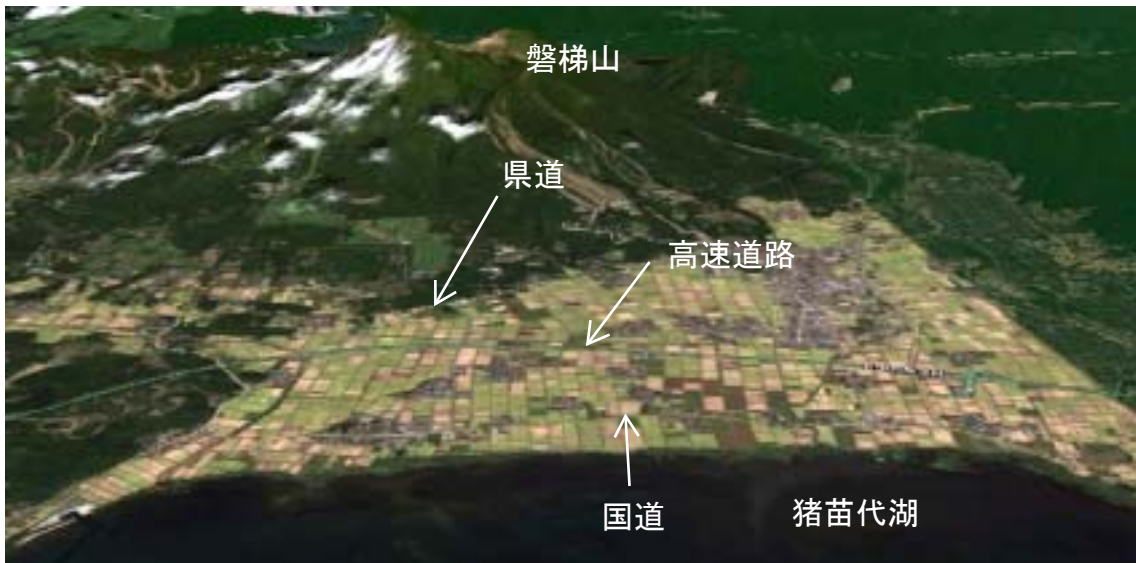
猪苗代湖北西の長浜方面は遊覧船やホテル、国道より上っていく斜めの道路があり、対象物がはっきりして変化が分かりやすく観測には最適な場所である。5月3日は長浜方面に変化の大きい上位層気楼が見ることが出来た。【図5】状況説明がし難く発表での動画を見ていただきたい。



【図1】



【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

最後に
今年は満足のいく観測が出来なかったが来年こそは今年にもまして新しい発見をしたい。
そのための準備を十分にして猪苗代湖だけに留まらず十和田湖や田沢湖の層気楼も追い求めたい。